

最近の管内総合経済動向 (2026年2月指標を中心として)

2026年4月16日

経済産業省 中部経済産業局
企画調査課

- 注) 1. 比較は、断りのあるものを除き、2026年2月実績値による。
2. 「P」は、速報値。
3. 「管内」とは、富山、石川、岐阜、愛知及び三重の5県を指す。
4. 前月比及び前年同月比は、増減率(%)を表す。
5. 下線部は、先月から変更した判断。

(お問合せ先)

中部経済産業局 総務企画部 企画調査課長 小林

担当：石川

電話：052-951-2723

メール：bzl-chb-chosa@meti.go.jp










最近の管内総合経済動向 (2026年2月指標を中心として)

- 生産は、持ち直しの動きがみられる。
- 個人消費は、持ち直している。
- 設備投資は、東海・北陸ともに、全産業、製造業、非製造業において、前年度を上回る見込みとなっている。
- 公共投資は、公共工事前払金保証請負金額が2か月ぶりに前年同月を上回った。
- 住宅投資は、新設住宅着工戸数が2か月連続で前年同月を上回った。
- 輸出は、名古屋税関管内の輸出通関額が2か月ぶりに前年同月を下回った。
- 雇用は、有効求人倍率が2か月ぶりに低下した。また、新規求人数が7か月連続で前年同月を下回った。
- 企業倒産は、倒産件数が3か月連続で前年同月を上回った。

以上、総合的に判断して、**最近の管内の経済動向は、緩やかに持ち直している。**

総括判断は、2025年12月発表以来、5か月連続。

判断の推移

公表年	2025年	2025年	2026年	2026年	2026年	2026年	前月との 判断比較	
公表月日	11月20日	12月17日	1月21日	2月18日	3月18日	4月16日		
実績月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		
総括判断	持ち直しているものの、生産面に足踏みがみられる	<u>緩やかに持ち直している</u>	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	 5か月連続	
管内生産（総合）	緩やかな持ち直しに足踏みがみられる	<u>持ち直しの動きがみられる</u>	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	 5か月連続	
主要業種の生産動向	◎輸送機械	緩やかな持ち直しに足踏みがみられる	<u>持ち直しの動きがみられる</u>	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	 5か月連続	
	◎生産用機械	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	 13か月連続	
	◎電子部品・デバイス	<u>持ち直しの動きがみられる</u>	持ち直しの動きがみられる	<u>持ち直している</u>	<u>緩やかに増加している</u>	緩やかに増加している	緩やかに増加している	 3か月連続
	◎電気機械	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	 12か月連続
	◎金属製品	弱含みとなっている	弱含みとなっている	弱含みとなっている	弱含みとなっている	弱含みとなっている	弱含みとなっている	 7か月連続
	◎鉄鋼	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	 25か月連続
個人消費	持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	 32か月連続	

※下線部は判断を変更。



動向の推移

公表年	2025年	2025年	2026年	2026年	2026年	2026年	
公表月日	11月20日	12月17日	1月21日	2月18日	3月18日	4月16日	
実績月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
需 要 の 動 向	◎設備投資	東海・北陸ともに、全産業、製造業、非製造業において、前年度を上回る計画となっている	東海・北陸ともに、全産業、製造業、非製造業において、前年度を上回る計画となっている	東海・北陸ともに、全産業、製造業、非製造業において、前年度を上回る計画となっている	東海・北陸ともに、全産業、製造業、非製造業において、前年度を上回る計画となっている	東海・北陸ともに、全産業、製造業、非製造業において、前年度を上回る見込みとなっている	
	◎公共投資	公共工事前払金保証請負金額が7か月連続で前年同月を上回った	公共工事前払金保証請負金額が8か月連続で前年同月を上回った	公共工事前払金保証請負金額が9か月連続で前年同月を上回った	公共工事前払金保証請負金額が10か月連続で前年同月を上回った	公共工事前払金保証請負金額が11か月ぶりに前年同月を下回った	公共工事前払金保証請負金額が2か月ぶりに前年同月を上回った
	◎住宅投資	新設住宅着工戸数が6か月連続で前年同月を下回った	新設住宅着工戸数が7か月連続で前年同月を下回った	新設住宅着工戸数が8か月連続で前年同月を下回った	新設住宅着工戸数が9か月連続で前年同月を下回った	新設住宅着工戸数が10か月ぶりに前年同月を上回った	新設住宅着工戸数が2か月連続で前年同月を上回った
	◎輸出	名古屋税関管内の輸出通関額が5か月ぶりに前年同月を上回った	名古屋税関管内の輸出通関額が2か月連続で前年同月を上回った	名古屋税関管内の輸出通関額が3か月連続で前年同月を上回った	名古屋税関管内の輸出通関額が4か月ぶりに前年同月を下回った	名古屋税関管内の輸出通関額が2か月ぶりに前年同月を上回った	名古屋税関管内の輸出通関額が2か月ぶりに前年同月を下回った
	◎雇用	有効求人倍率が前月と同値であった。また、新規求人数が2か月連続で前年同月を下回った。	有効求人倍率が2か月ぶりに低下した。また、新規求人数が3か月連続で前年同月を下回った。	有効求人倍率が2か月連続で低下した。また、新規求人数が4か月連続で前年同月を下回った。	有効求人倍率が3か月連続で低下した。また、新規求人数が5か月連続で前年同月を下回った。	有効求人倍率が前月と同値であった。また、新規求人数が6か月連続で前年同月を下回った。	有効求人倍率が2か月ぶりに低下した。また、新規求人数が7か月連続で前年同月を下回った。
	◎企業倒産	倒産件数が4か月連続で前年同月を上回った	倒産件数が5か月ぶりに前年同月を下回った	倒産件数が2か月連続で前年同月を下回った	倒産件数が3か月ぶりに前年同月を上回った	倒産件数が2か月連続で前年同月を上回った	倒産件数が3か月連続で前年同月を上回った

1. 生産

生産は、持ち直しの動きがみられる。

鉱工業生産指数（2月速報）は、電子部品・デバイス工業、鉄鋼業等がプラス寄与となったものの、輸送機械工業、生産用機械工業、化学工業等がマイナス寄与となったことから、前月比-2.4%と2か月ぶりの低下となった。また、前年同月比は+6.0%と2か月連続の上昇となった。

業種の動向を見ると、主力の輸送機械工業は、自動車の生産が新型モデルへの切替えに伴う生産減少から回復傾向にあり、全体としては堅調に推移していることから、持ち直しの動きがみられる。生産用機械工業は、金属工作機械を中心に需要拡大の兆しがみられるものの、一部で設備投資に慎重な姿勢が続いており、横ばいとなっている。電子部品・デバイス工業は、集積回路がデータセンターやAIサーバー向けに好調なことに加え、電子部品もAIサーバー向けに持ち直しており、緩やかに増加している。他業種を含めた複合的な要因を考慮して、5か月連続で「持ち直しの動きがみられる」と判断した。

先行きについては、海外経済の動向や為替変動、不安定な世界情勢等によって引き続き不透明な状況が続いており、今後の動向を注視していく必要がある。

1. 生産

(2020年=100)

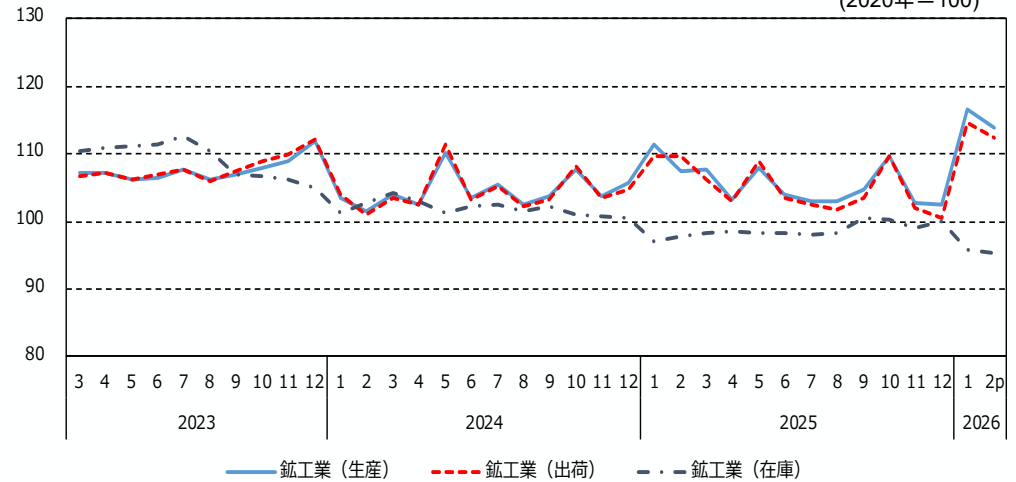
管内	季節調整済指数			原指数 2026年 2月p	前年 同月比
	2026年 1月	2026年 2月p	前月比		
生産	116.6	113.8	- 2.4	111.3	+6.0
出荷	114.6	112.4	- 1.9	109.5	+2.5
在庫	95.8	95.3	- 0.5	96.7	- 2.4

(2020年=100)

全国	季節調整済指数			原指数 2026年 2月p	前年 同月比
	2026年 1月	2026年 2月p	前月比		
生産	104.5	102.3	- 2.1	97.8	+0.3
出荷	102.1	100.5	- 1.6	96.7	- 0.2
在庫	97.8	98.1	+0.3	98.5	- 3.4

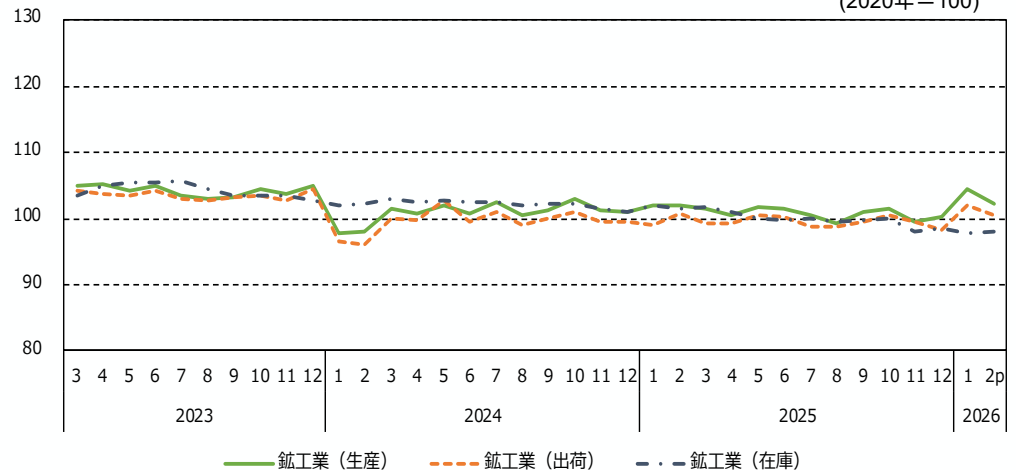
管内 鋳工業指数 (季節調整済)

(2020年=100)



全国 鋳工業指数 (季節調整済)

(2020年=100)



1. 生産

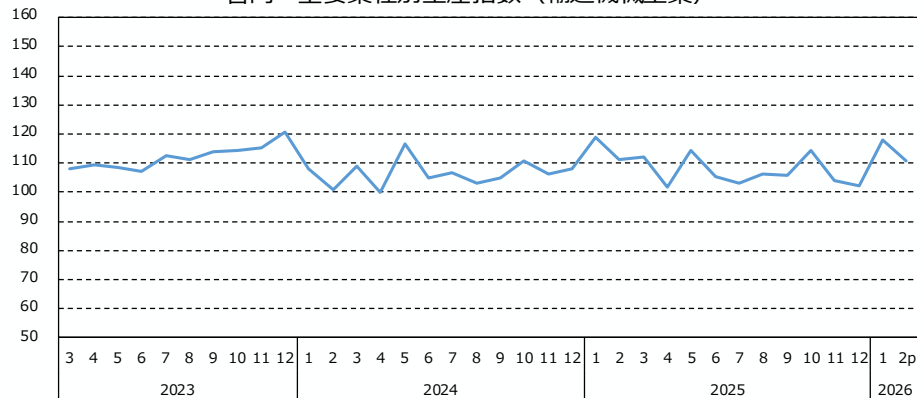
(1) 輸送機械の生産は、持ち直しの動きがみられる。

自動車の生産は、新型モデルへの切替えに伴う生産減少から回復傾向にあり、全体としては堅調に推移していることから、持ち直しの動きがみられる。

(2020年=100)

管内	季節調整済指数			原指数	前年 同月比
	2026年 1月	2026年 2月p	前月比	2026年 2月p	
生産	118.1	110.6	- 6.4	111.0	- 0.5

管内 主要業種別生産指数（輸送機械工業） (2020年=100)



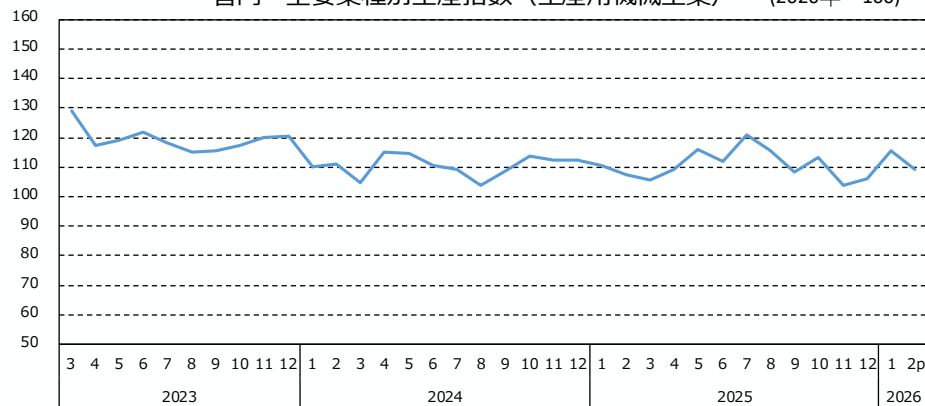
(2) 生産用機械の生産は、横ばいとなっている。

金属工作機械を中心に需要拡大の兆しがみられるものの、一部で設備投資に慎重な姿勢が続いており、横ばいとなっている。

(2020年=100)

管内	季節調整済指数			原指数	前年 同月比
	2026年 1月	2026年 2月p	前月比	2026年 2月p	
生産	115.5	109.0	- 5.6	109.8	+ 1.6

管内 主要業種別生産指数（生産用機械工業） (2020年=100)



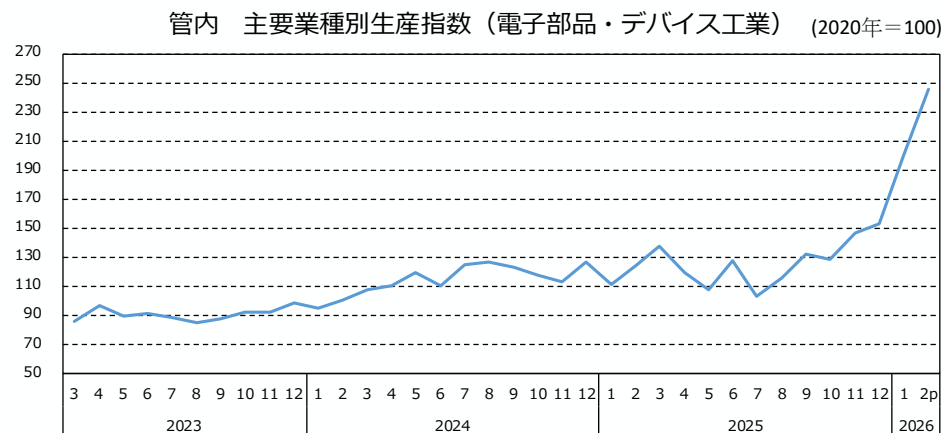
1. 生産

(3) 電子部品・デバイスの生産は、緩やかに増加している。

集積回路がデータセンターやAIサーバー向けに好調なことに加え、電子部品もAIサーバー向けに持ち直しており、緩やかに増加している。

(2020年=100)

管内	季節調整済指数			原指数 2026年 2月p	前年 同月比
	2026年 1月	2026年 2月p	前月比		
生産	199.5	245.9	+23.3	228.1	+98.3

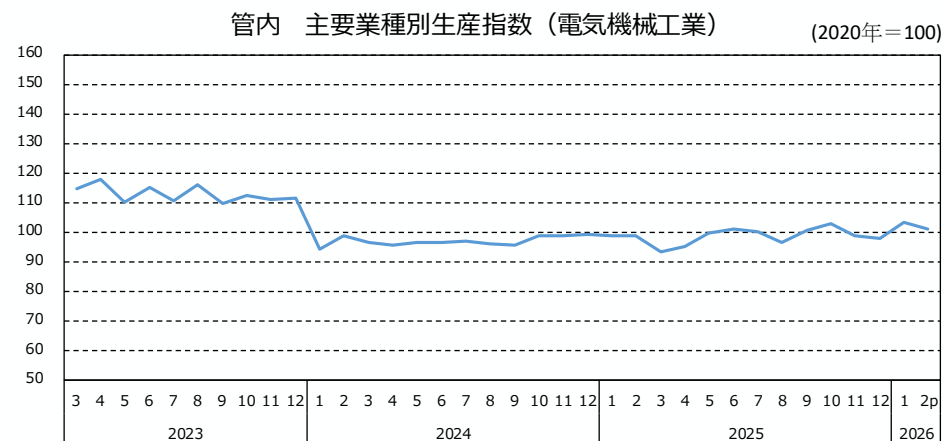


(4) 電気機械の生産は、横ばいとなっている。

自動車向けに堅調であるものの、設備関連の一部製品で回復が遅れがみられることから、横ばいとなっている。

(2020年=100)

管内	季節調整済指数			原指数 2026年 2月p	前年 同月比
	2026年 1月	2026年 2月p	前月比		
生産	103.5	101.2	-2.2	97.5	+2.1



1. 生産

(5) 金属製品の生産は、弱含みとなっている。

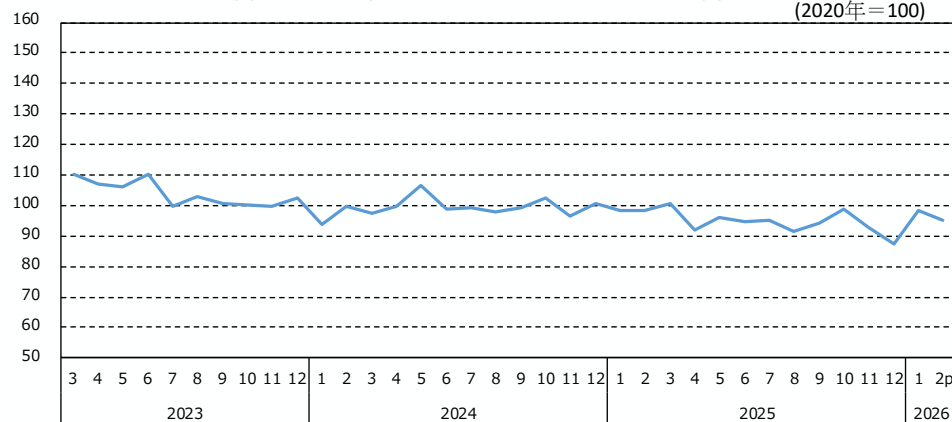
アルミニウム建材は、リフォーム需要はあるものの、新設住宅着工戸数が伸び悩んでおり、ビル向けの需要も減少していることから弱い動きとなっている。ばねは持ち直しの動きがみられる。

(2020年=100)

管内	季節調整済指数			原指数	前年 同月比
	2026年 1月	2026年 2月p	前月比	2026年 2月p	
生産	98.4	95.3	- 3.2	88.7	- 3.0

管内 主要業種別生産指数（金属製品工業）

(2020年=100)



(6) 鉄鋼の生産は、横ばいとなっている。

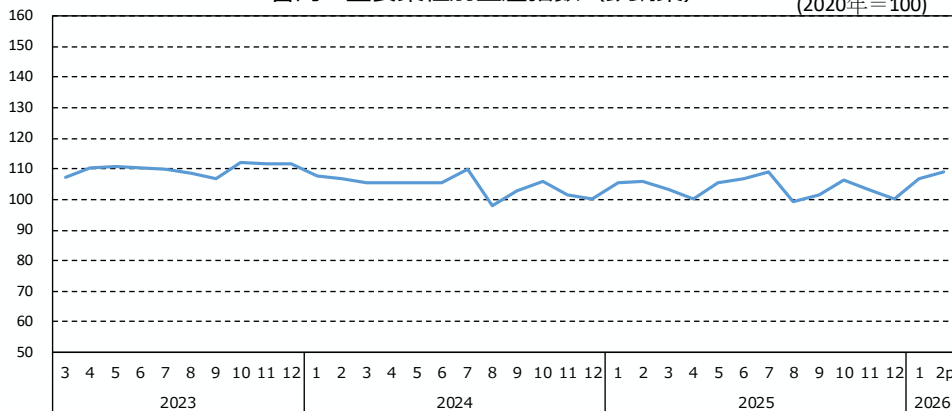
自動車向けは横ばいで推移しており、産業機械や建設機械向けは弱い状況が続いている。

(2020年=100)

管内	季節調整済指数			原指数	前年 同月比
	2026年 1月	2026年 2月p	前月比	2026年 2月p	
生産	106.6	109.0	+ 2.3	103.8	+ 2.8

管内 主要業種別生産指数（鉄鋼業）

(2020年=100)



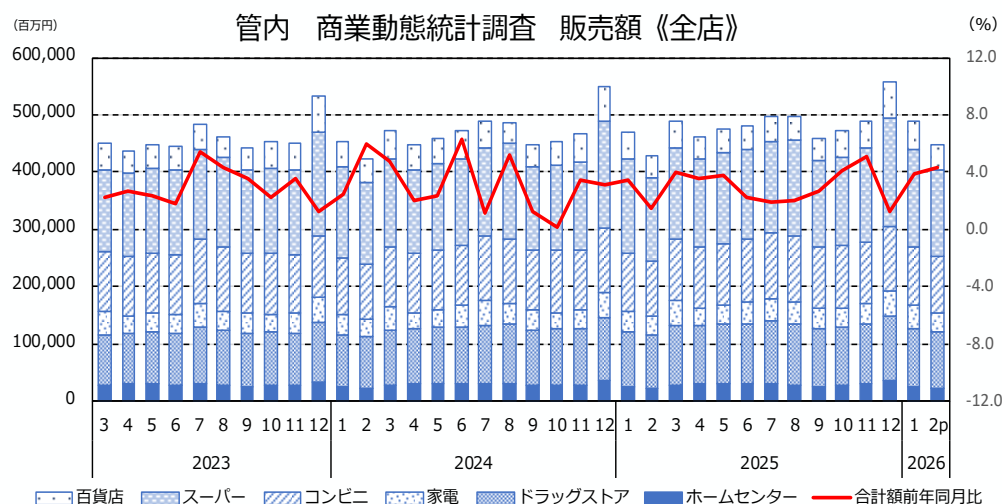
2. 個人消費

個人消費は、持ち直している。

2月の管内商業動態統計（販売額（速報値））は、前年同月比+4.3%と全体では51か月連続で前年を上回った。気温が上昇し灯油や暖房用品などの売上が振るわなかった一方で、園芸用品の売上は好調となったほか、花粉の飛散時期が例年よりも早まったことで鼻炎薬などの売上が好調となった。百貨店は、引き続き免税売上高が減少したものの、地域主要百貨店の閉店セールが売上増加に大きく寄与した。スーパーは、前年におけるキャベツや白菜などの野菜の相場高による反動減が引き続きみられたものの、イチゴなどの春物季節商品に動きがあった。コンビニは、節約志向に対応したクーポン等の販売促進策が売上増加に寄与した。家電大型専門店は、携帯キャリア各社の販売促進策により引き続き携帯電話の売上が伸長した。ドラッグストアは、インフルエンザの再流行もあってOTC医薬品、調剤部門の売上が好調となった。以上のことから、32か月連続で「持ち直している」と判断した。

先行きについては、物価の高騰や気温の変化、インバウンド需要等の複合的な影響を注視していく必要がある。

管内 2月速報値	販売額	前年同月比
百貨店	45,669	+13.2
スーパー	151,423	+3.8
コンビニエンスストア	96,836	+1.8
家電大型専門店	33,042	+2.7
ドラッグストア	98,774	+5.7
ホームセンター	22,645	-0.5
合計	448,390	+4.3



2. 個人消費

(1) 百貨店販売額

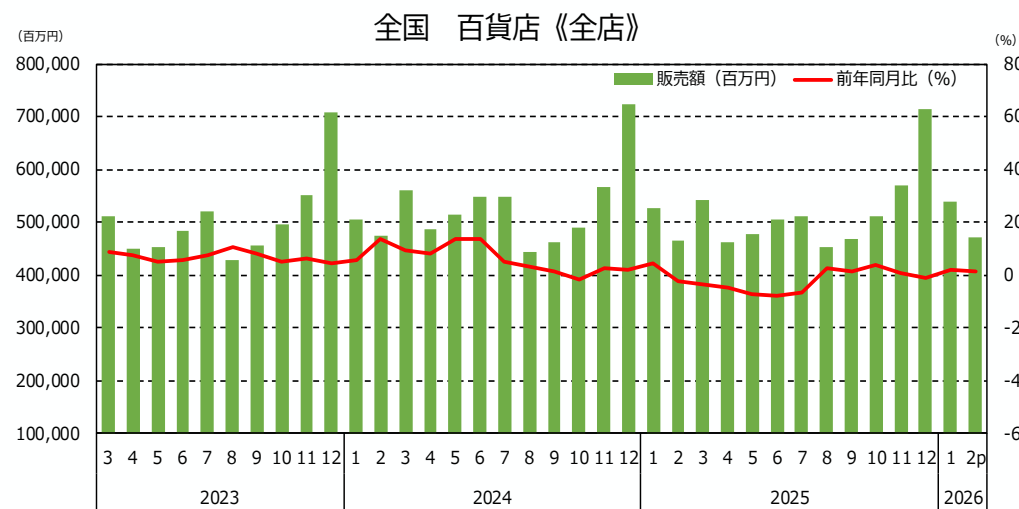
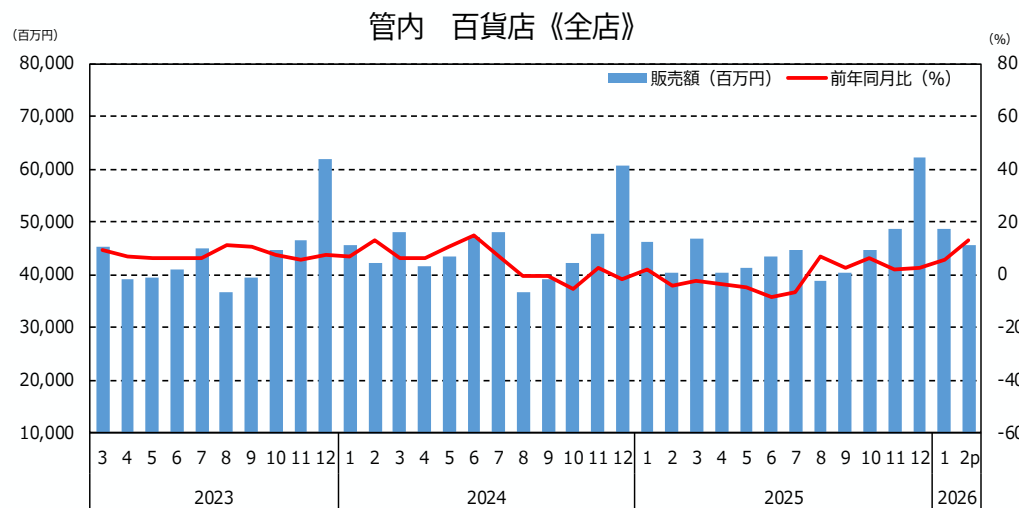
百貨店は、7か月連続で前年を上回った。

引き続き免税売上高が減少したものの、高額品の売上は好調に推移したほか、地域主要百貨店の閉店セールが売上増加に大きく寄与した。

管内 2月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
百貨店	45,669	+13.2	※1 +13.2

※1 既存店とは、前年同月実績が比較できる状態の店のこと。1年未満の新店と閉店の実績を除く。

全国 2月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
百貨店	472,321	+1.6	+2.0



2. 個人消費

(2) スーパー販売額

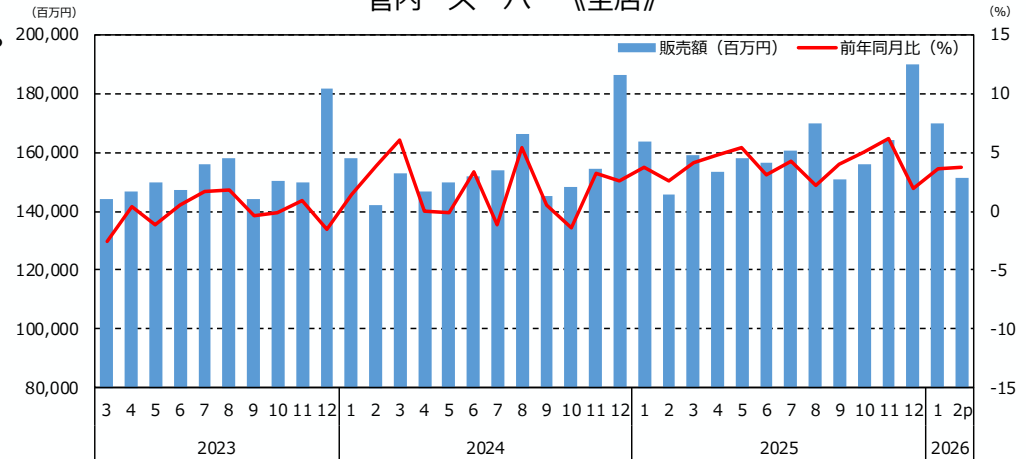
スーパーは、16か月連続で前年を上回った。

前年におけるキャベツや白菜などの野菜の相場高による反動減が引き続きみられたものの、気温の上昇によりイチゴなどの春物季節商品に動きがあったほか、節分においては恵方巻きなどの売上が好調となった。

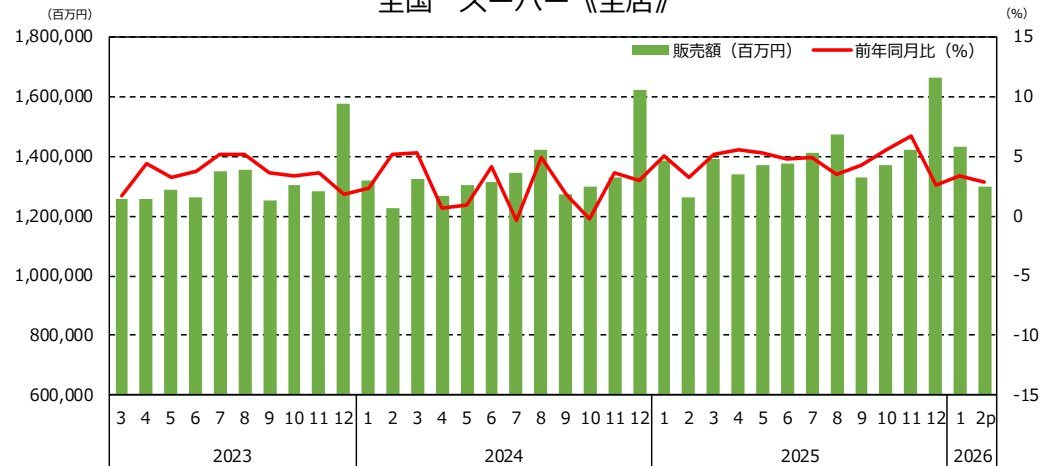
管内 2月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
スーパー	151,423	+3.8	+2.5

全国 2月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
スーパー	1,300,137	+2.9	+1.8

管内 スーパー《全店》



全国 スーパー《全店》



2. 個人消費

(3) コンビニエンスストア販売額

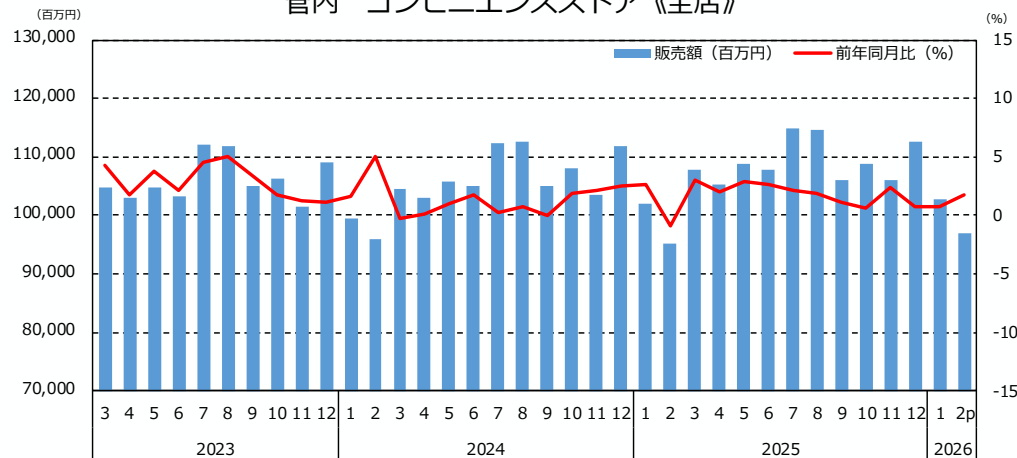
コンビニエンスストアは、12か月連続で前年を上回った。

物価高による客単価の上昇に加え、節約志向に対応したクーポン等の販売促進策が売上増加に寄与した。

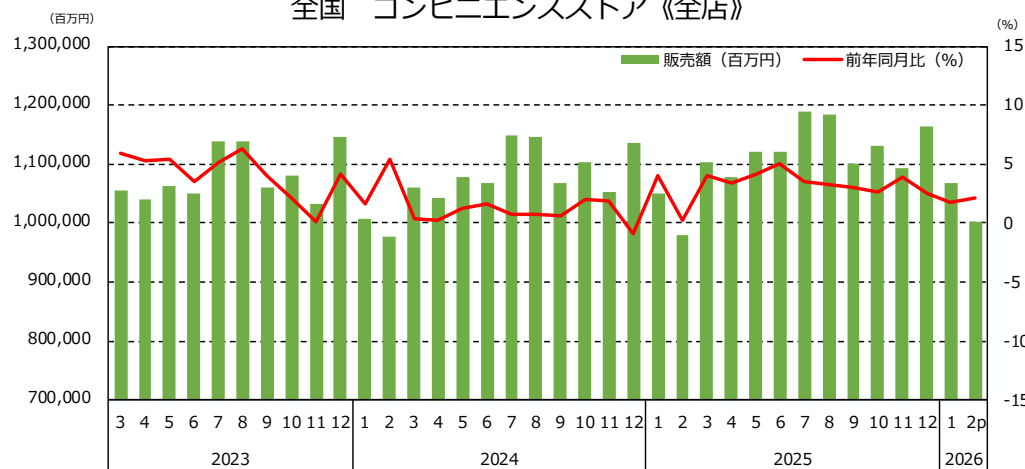
管内 2月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)
コンビニエンスストア	96,836	+1.8

全国 2月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)
コンビニエンスストア	1,001,419	+2.2

管内 コンビニエンスストア《全店》



全国 コンビニエンスストア《全店》



2. 個人消費

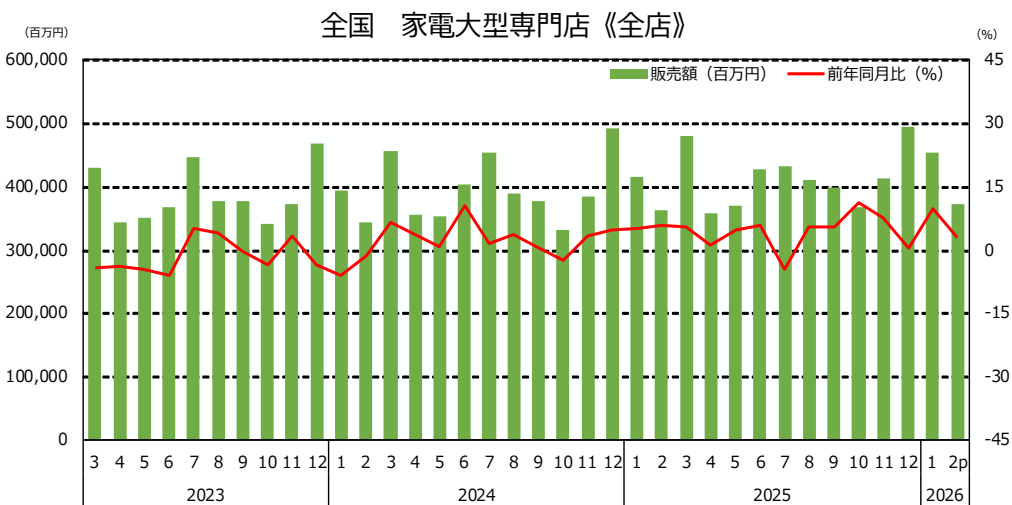
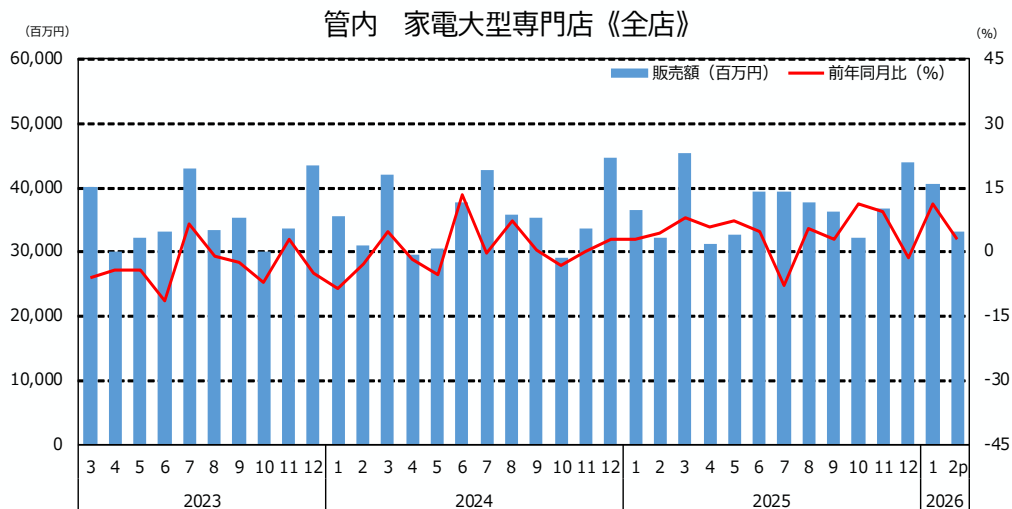
(4) 家電大型専門店販売額

家電販売は、2か月連続で前年を上回った。

エアコンは省エネ基準改正前の駆け込み需要もあって売上が好調となったほか、携帯キャリア各社の販売促進策により引き続き携帯電話の売上が伸長した。

管内 2月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)
家電大型専門店	33,042	+2.7

全国 2月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)
家電大型専門店	371,915	+2.9



2. 個人消費

(5) ドラッグストア販売額

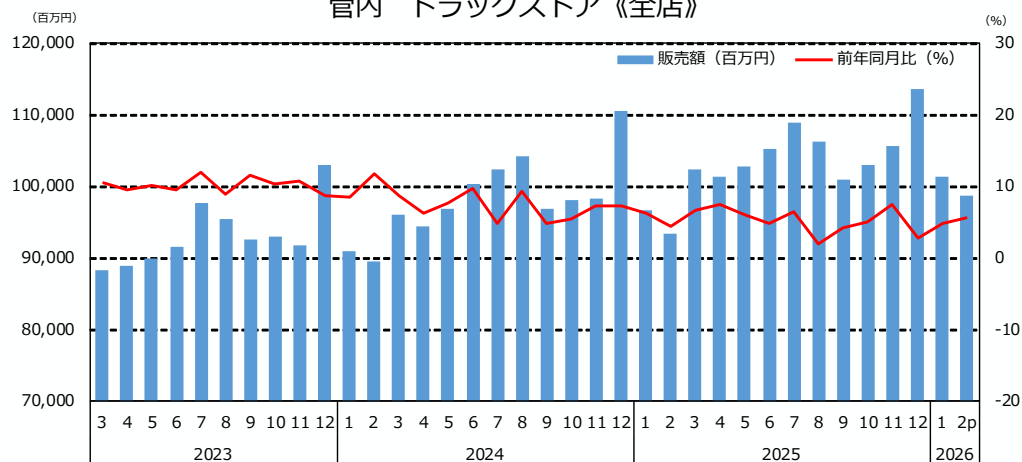
ドラッグストアは、58か月連続で前年を上回った。

インフルエンザの再流行に加えて、気温の上昇により花粉の飛散時期が例年よりも早まったことで、風邪薬や鼻炎薬などのOTC医薬品、調剤部門の売上が好調となった。

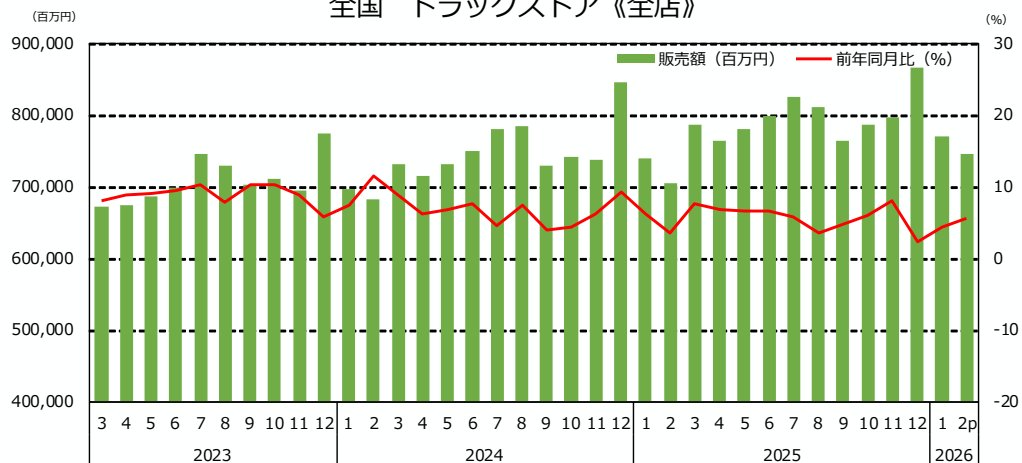
管内 2月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)
ドラッグストア	98,774	+5.7

全国 2月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)
ドラッグストア	744,505	+5.6

管内 ドラッグストア《全店》



全国 ドラッグストア《全店》



2. 個人消費

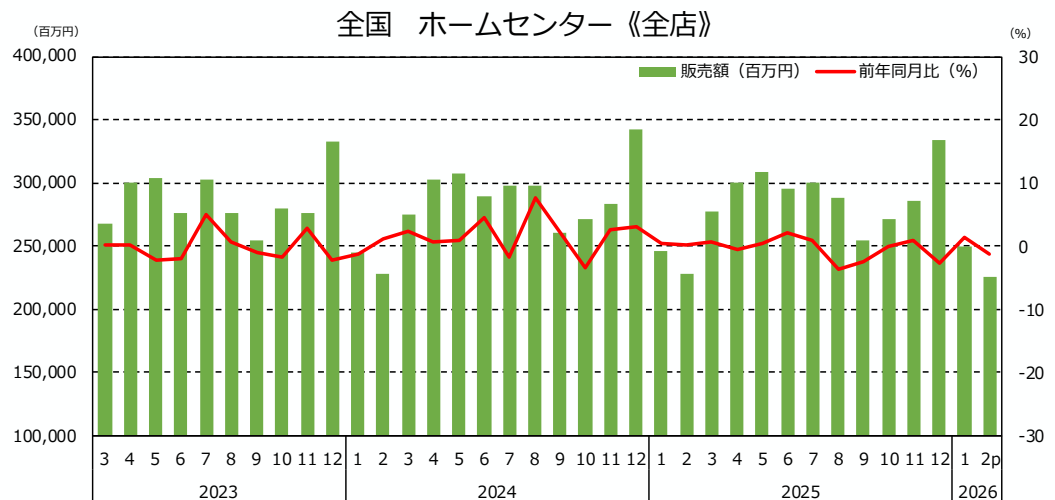
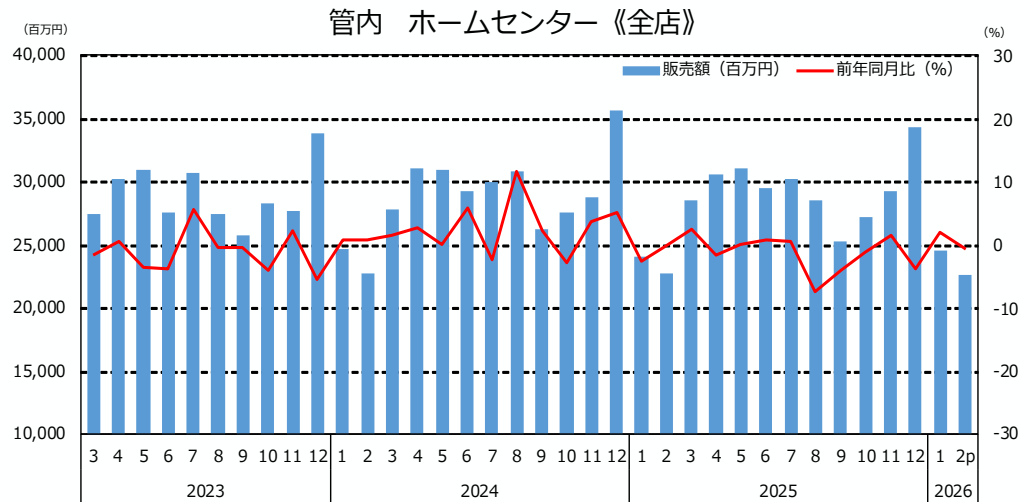
(6) ホームセンター販売額

ホームセンターは、2か月ぶりに前年を下回った。

気温が上昇し好天に恵まれたことで、花苗や家庭菜園資材などの園芸用品の売上は好調となった一方で、灯油や暖房用品などの売上が振るわなかった。

管内 2月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)
ホームセンター	22,645	- 0.5

全国 2月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)
ホームセンター	225,739	- 1.2



2. 個人消費

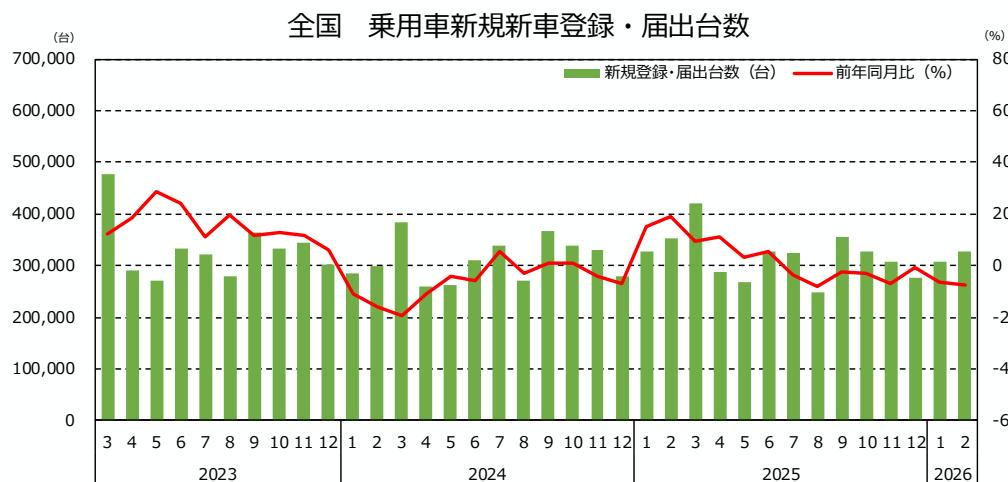
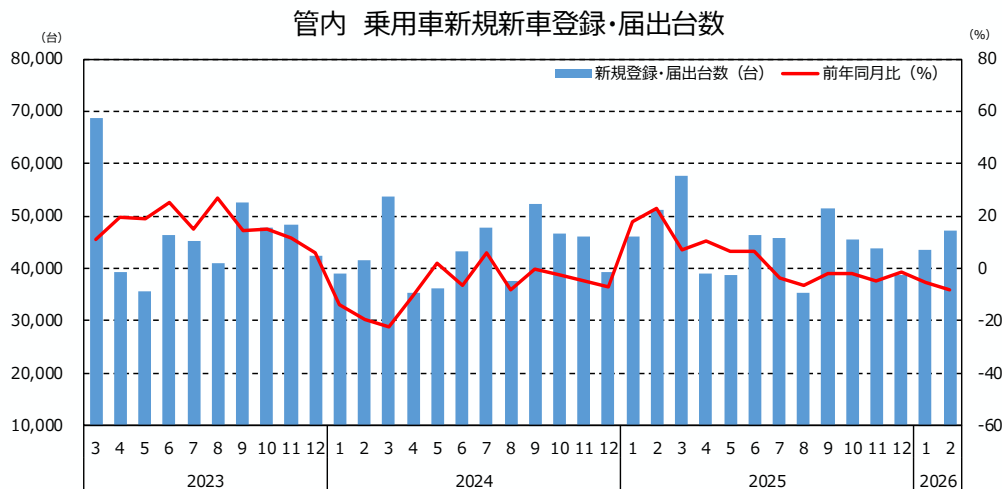
(7) 乗用車新規登録・届出台数

乗用車新車登録・届出台数は、8か月連続で前年を下回った。

新型車の投入不足や一部改良を控えた車種の生産調整に加え、4月の環境性能割廃止を見据えた買い控えなどの影響により販売が伸び悩み、新規登録・届出台数が低下した。

管内 2月	新規登録・届出台数	前年同月比
乗用車	47,136	- 8.1

全国 2月	新規登録・届出台数	前年同月比
乗用車	328,042	- 7.4



出所）（一社）日本自動車販売協会連合会、（一社）全国軽自動車協会連合会

3. 設備投資

設備投資（2025年度）は、東海・北陸ともに、全産業、製造業、非製造業において、前年度を上回る見込みとなっている。

(1) 企業短期経済観測調査（設備投資計画等） 2026年3月調査

(対前年度増減率%)

	東海		北陸	
	2025年度見込み	2026年度計画	2025年度見込み	2026年度計画
全産業	+8.1	+0.8	+25.1	+1.2
製造業	+5.5	+0.8	+39.7	+2.7
非製造業	+16.5	+0.9	+8.7	-1.0

出所) 日本銀行名古屋支店、日本銀行金沢支店

※東海（愛知、岐阜、三重）、北陸（石川、富山、福井）

※東海：ソフトウェア・研究開発を含む設備投資額（除く土地投資額）

北陸：ソフトウェア・研究開発を除く設備投資額（含む土地投資額）

(2) 法人企業景気予測調査 2026年1-3月期調査

(対前年度増減率%)

	東海		北陸	
	2025年度（見込み）	2026年度（見通し）	2025年度（見込み）	2026年度（見通し）
全産業	+16.9	+4.1	+21.2	+13.0
製造業	+5.5	-4.1	+14.1	+37.8
非製造業	+26.6	+13.8	+34.1	-16.5

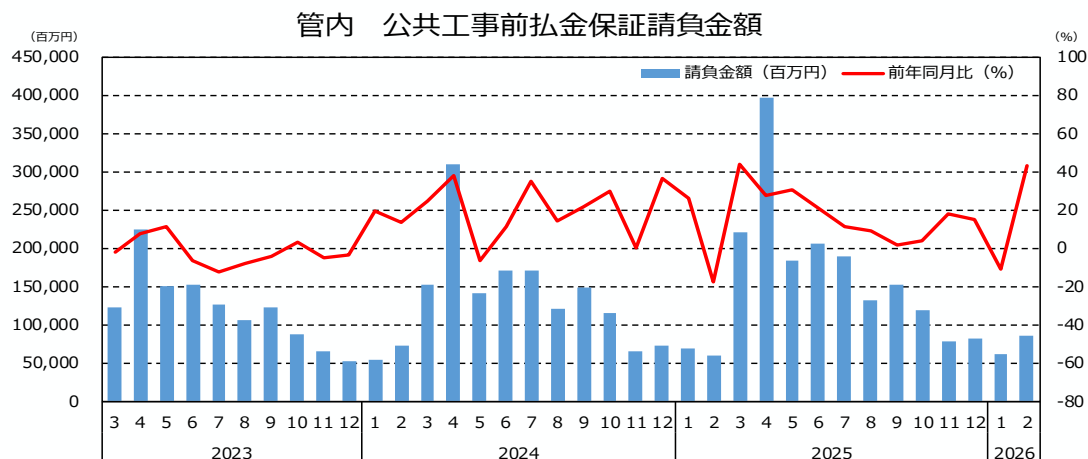
出所) 東海財務局、北陸財務局

※東海（愛知、岐阜、静岡、三重）、北陸（石川、富山、福井）

4. 公共投資

公共投資は、公共工事前払金保証請負金額が2か月ぶりに前年同月を上回った。

管内 2月	請負金額	前年同月比
前払金保証 請負金額	84,916	+43.0

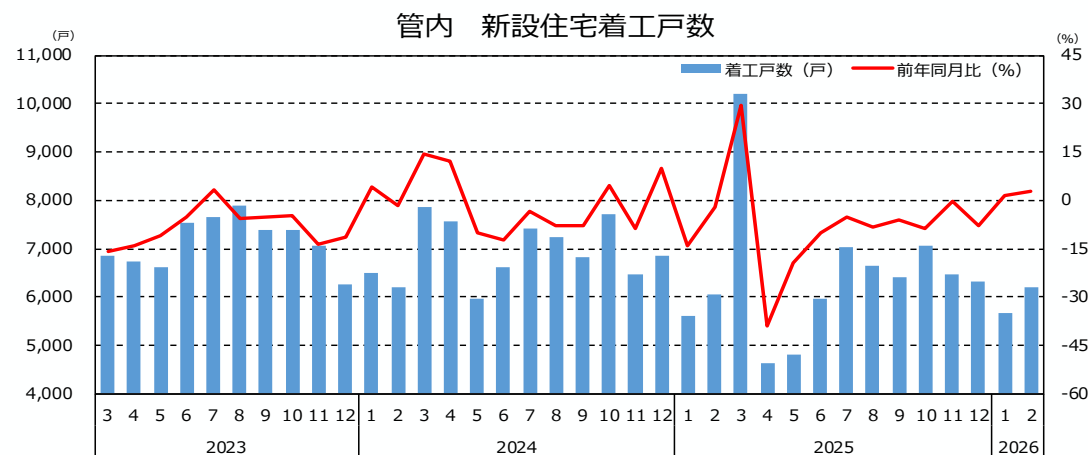


出所) 北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)

5. 住宅投資

住宅投資は、新設住宅着工戸数が2か月連続で前年同月を上回った。

管内 2月	戸数	前年同月比
新設住宅 着工戸数	6,217	+2.7

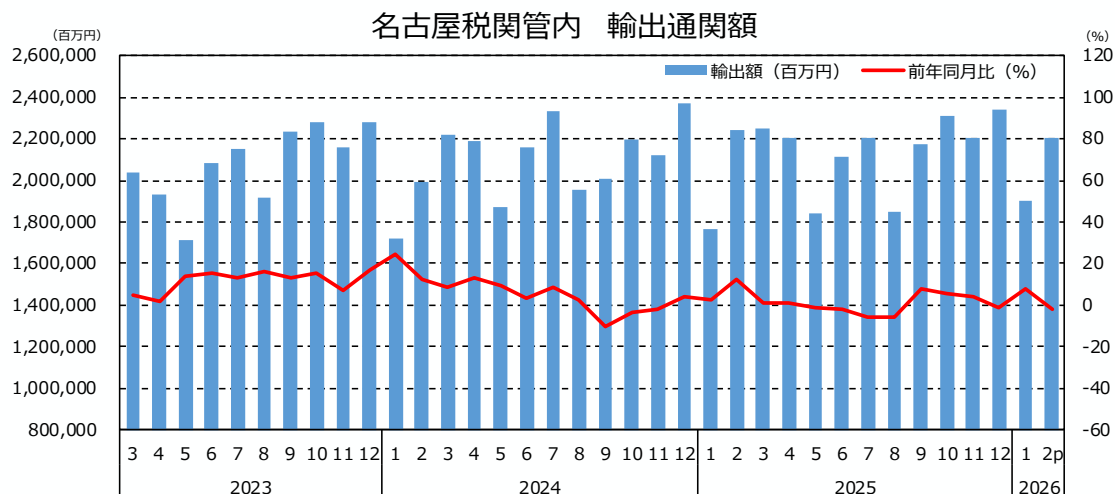


出所) 国土交通省

6. 輸出

輸出は、名古屋税関管内の輸出通関額が2か月ぶりに前年同月を下回った。

2月	輸出通関額 (速報)	前年同月比
名古屋税関管内	2,206,345	- 1.7

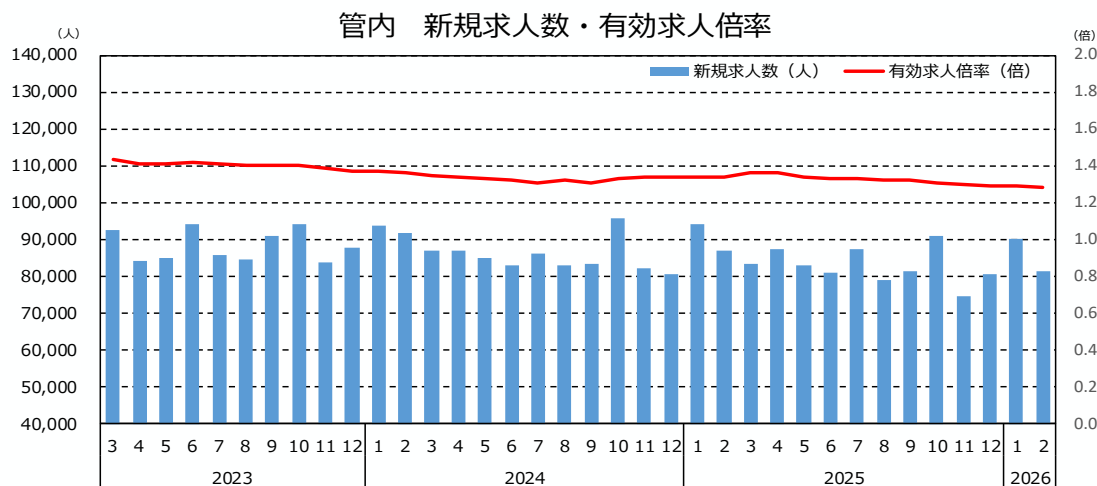


出所) 名古屋税関、財務省

7. 雇用

雇用は、有効求人倍率が2か月ぶりに低下した。また、新規求人数が7か月連続で前年同月を下回った。

管内 2月	倍率	前月差
有効求人倍率 (季節調整値)	1.28	- 0.01
管内 2月	人数	前年同月比
新規求人数 (原数値)	81,475	- 6.4

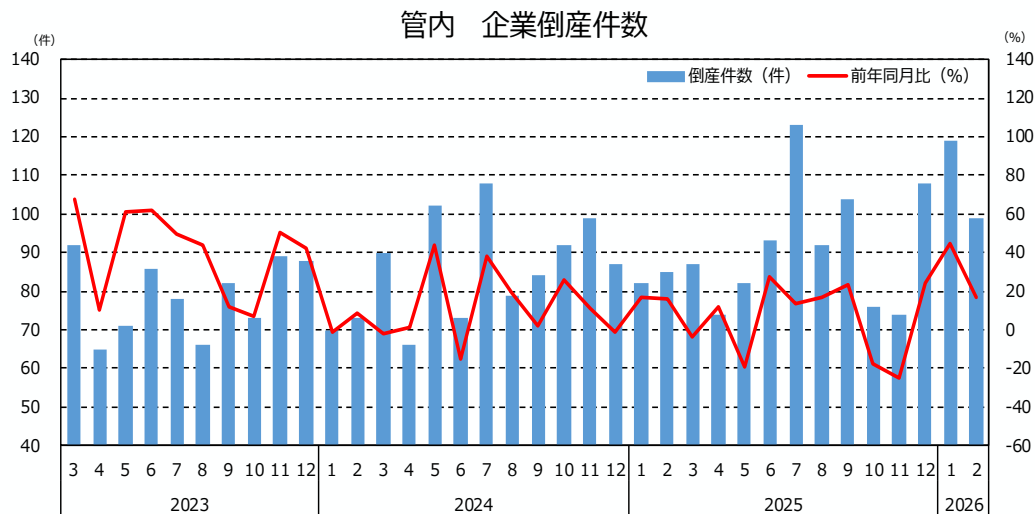


出所) 新規求人数、有効求人倍率：厚生労働省、中部経済産業局

8. 企業倒産

企業倒産は、倒産件数が3か月連続で前年同月を上回った。

管内 2月	件数	前年同月比
企業倒産	99	+16.5



出所) (株)東京商工リサーチ